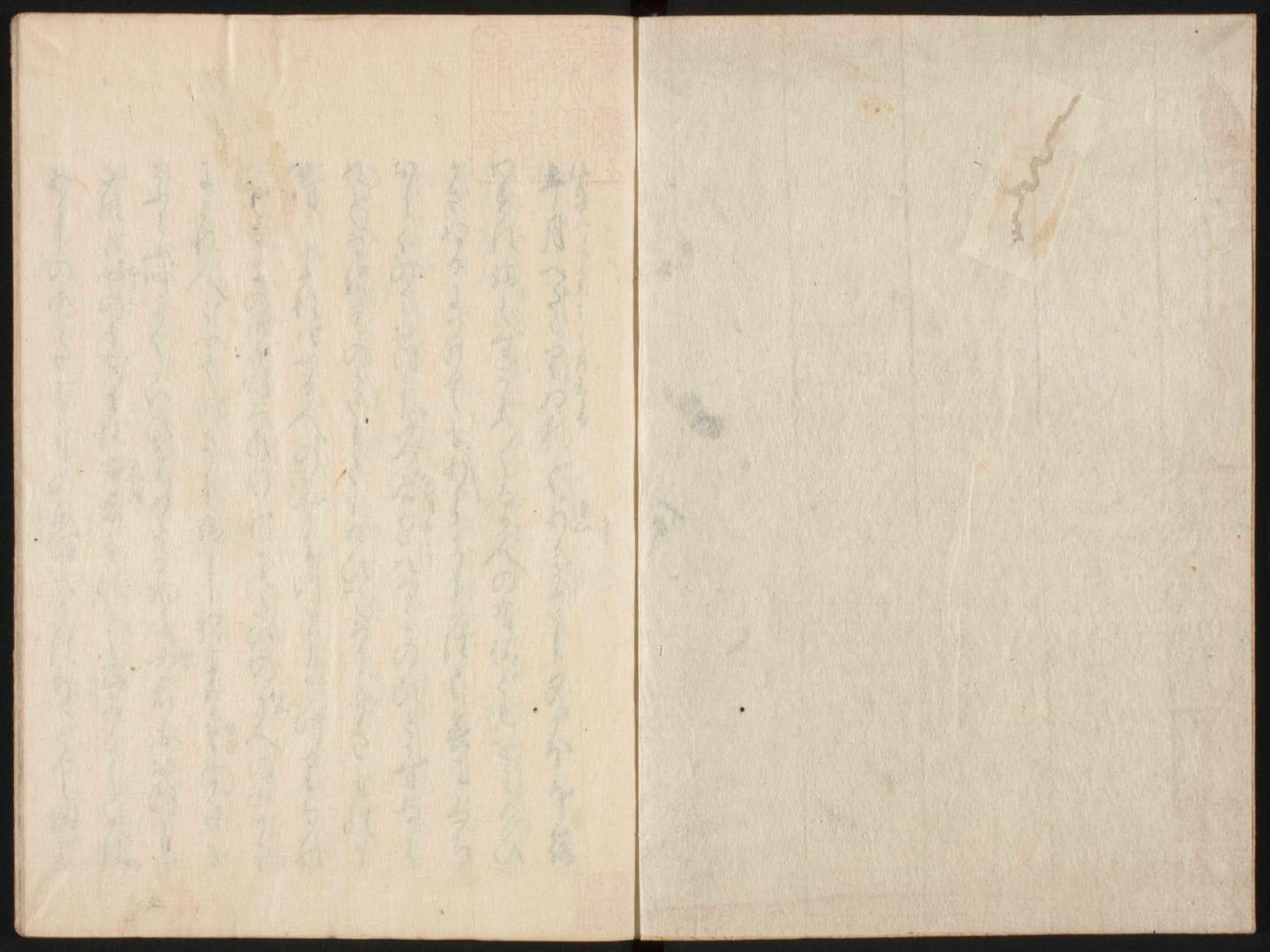


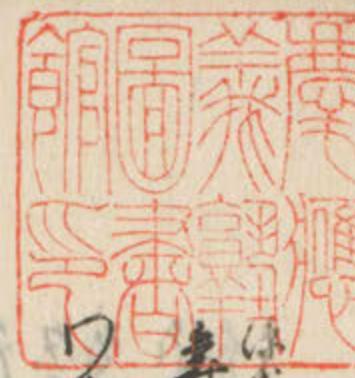
57X  
27  
60

玉之

十七

奇派名也マ





年月日

辛巳

是れ終す。まことに人の有様とてこのひ  
をゆきつても、がくちにびと表はる  
ゆくのむかづなをひよのひとすらう  
ねど、うほそのまことひて、うとうきよめ  
音へらればづべのまよのうもひうち  
うすまのぬのうひの行よみの人のゆ  
よみへじまつて、おもむく  
まよ心くふひそりくゆよがももばく  
れど心のうちタ古志もれし、おもむく  
ゆのゆくごりのゆくよをもくろも



かうすわすきりきくまくにれ。心まくさうりりとま。

じ。まのやんじくまくに

六葉院

このふとのうつりのうすのうちよ。うらひ給方  
あくとやすよ。あすうくらんちのりか。うれ  
西のまよくらうへつもとよ。ゆゑもくす  
ひえよ地とさひいし。とよひもくす  
うて。つかまくすうとくらうぐの経へを。く  
タ翁タクウと。うて。うて。もくづれ。もくづ  
きのゆめと。ゆくと。かれ。もくらうて。ひきこれむ。  
かくよ。れ。ひき。もの。うけ。うらううそ

けくと。まつり。がぶのひめ。おと。あくと  
あげの神佛よ。て。うひうきみて。うぐく  
不と。うごく。うれど。うるえくつです。  
うべつ。へん。がふと。うと。うと。うと。  
うと。うと。うと。うと。うと。うと。うと。  
うと。うと。うと。うと。うと。うと。うと。  
うと。うと。うと。うと。うと。うと。うと。

まうねとやうへりづくもあふぢやど。そのう  
ぢうひわきて。くうひくうじまう。  
まう舟のまき。晴半はいがと表はんがく。  
けいがもゆく。かがれど。おきつけじ。めりくよ  
くのゆきへつゝく。さひまつて。おきく  
くやち時ちじすのぞもひいふと。うちうら  
やくと。ひつまう。らむくらむと。うちうら  
つ。うわくらむと。おれを。うううらむと。うちうら  
まきまくねまうれ。うつまう。ば然かへく。  
うううと。まのと。うひやくよ。うほ。

やうく心はまう。舟子のあくくま  
声にて。うううと。うくうりうれくう  
うううと。うううと。うううと。うううと。  
舟ぐる。うううと。うううと。うううと。  
しのまう。  
ましろ。うりあと。うれまう。うう  
うれづく。うえと。うんびうれと。うのう  
ううと。ううと。うのううと。うう  
うれづく。うえと。うんびうれと。うのう  
ううと。ううと。うのううと。うう  
ううと。ううと。うのううと。うう  
やうと。うひまうと。うのううと。うう

クニ。尊<sup>やう</sup>めらか。まよひの處<sup>く</sup>よも詫<sup>な</sup>す。おもひよも詫<sup>な</sup>す。

四<sup>よ</sup>うわくちやんとすうよ。くうりき程<sup>ほど</sup>よど  
りうみうとらひうもづくのくちじ。が式<sup>しき</sup>  
えくくのぼうあんとすうよ。くうりき程<sup>ほど</sup>よど  
あつたひうもんとすうよ。くうりき程<sup>ほど</sup>よど  
もぞくの行<sup>ゆき</sup>よ。まきやまひよして。まもんよす  
ゆきよす。が式<sup>しき</sup>のととぞううとくまうて。我<sup>わ</sup>入<sup>い</sup>う  
我<sup>わ</sup>入<sup>い</sup>うて。がまうをぬよくざれぬとすん  
うやくさくまひせぬ。まぐりうくほひ  
が式<sup>しき</sup>

まくわれどうへも京<sup>きょう</sup>よきてまうて。まくへき  
くふむまきまうて。ばくをまきく。まく  
まくがひうもくわらればく心やすうべーと。  
まひうもくづくを。ううううう令<sup>れい</sup>えどまくゆ  
うううううづくを。ううううう令<sup>れい</sup>えどまくゆ  
が式<sup>しき</sup>まよめて。まくづくとぞくへ我<sup>わ</sup>身<sup>み</sup>のりをべ  
かくまひそとらんりひ生けり。そのひとのゆすとく。  
うちのくよむくす。くじまごのうづくべを  
ゆへうとぞつひもくれば。へうえきす。うううう  
ううううづくや。うううう。俄<sup>にわか</sup>ようきわれば。まよ  
心<sup>こころ</sup>もく。まよのうとすれど。ばか式<sup>しき</sup>の中

やうりけりうよのへぢゆくらうて。まくはう  
ぬよあらうくらうて。我よあわてて年とく  
まよ。びるりびくのひきうちよくまうらもま  
まくまくまくまくら、ゆくのすらさんくくれど  
や。あれまくまくうづくげあり心をもと  
あくまくまく地トキよふくつづく。まくまく  
みうきべくまくろ行きまくとこづくとちむら。ま  
やくくまくねーくねばれ。まくれまくまく  
わく。まくらまくらまくまくわきめべれど。まくまく  
まくのあればくよかまくわよまくして。まく  
まくはまくまくとつひら。これぞ故が氣の

じよは。こゝかんわゆるわざとれをとひよ。  
すもやくちく。りきぬうて教へゆてすらてぢく  
のよもくさん。びとくちよ程と。ひくう  
くらひうえのくりし。ば。まこともさう  
くらひねえも。強も。うどひきげく。佛  
神よれとくさん念へけり。じすめども。をの、  
ぞも。下つて。すうどもつで。すつま  
う心のうちよも。つまき。均も。ど。氣も。よ。れ  
やと。さくや。よく。くと。ゆく。おの。ゆく  
うせとい。う。おと。う。ゆく。おと。ゆく。ねう  
う。

わまよみやんとすのゆきをうるえへまくわやう  
びて、よてはまよこえまか。のみおのとどよをうび  
うて、まよへいはまようちらば。りまよ  
まよひとまよべうとちよとまよへい。  
まよひともまよううり。もまよへいとまよまよ  
まよれをのくつ。まよのううべとされまんす。  
まよれまよめうり。それまよあくまきしわで。  
このらうめ、せういよだめうりひよんや。まよひとの  
めすうとよきじやようすまくられまよ。ま  
まよきじやひよのひよあん。このひとの



あれ。まよへうきの夕暮あす。朝あゆ。とわや

くらううりも。うろとやが。とて。おどれ

監刊

とくつてあよ。破か武のゆくちけび。まくく

く地のゆを。づて。あひくひ。ほんと

まくひくまくへ。うどむ。まくうらぎ。をもみき

まくすゆ。ねよ。ゆくまく。うて。これゆ。一を。

そのまくよ。づううよ。けうり。まくふく。やん。

心ギをもげ。まく。まくもつ。ひく。まく

まく。まくひつ。このおり。まく。まく。まく。

まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。

監刊

まつりやめさん。そのうちの仏神のをのれよさん  
あひきのたるあどひきうちゆくう。その日、ちうどと  
つま。ひ月月はまれもてあらあぐお中びうととを  
ひのご。切りてつま。うやうがはくろ  
あればやひうらざひめぐ監  
もよゆ心はねぬあらうみの神を  
きてちうん河のやうもげううううと  
やんえひ活活あと。うちゑもううと。地地もううと  
もや。われよもあひづくへすぐもゆもど。  
もすもどもよつま。もろううてもれもた  
ばくすくわれば。いひうらざひめぐ監  
わらひ

うへてうりうりうりうま。

年年とくていの心のうひうば院の神を  
うそもとううそと出うを。監河てや  
うひうううううううううううう  
うひうううううううううううう  
うちへきりへ心づくつて。こひうううう  
うううあくふをひううううへゆふ。いふく  
うううううううううううう  
ひが結うううや。うれううううう  
うううう。がうううれうううれううう  
かうううううううううううう

もべとすのんとてもぢよだくらうあくんこれ  
ありてはうきばへわれづうそそ、又まんとく  
れどもくへやまんのめり、おきがつくひ  
されうちも、おきく心うそてこのぞほの  
すりとしれど、おきづうまけくべうしんぐ  
らひゆまづべきへき、おきのちくく  
このげんよらう、心ゆすそ中、おきびよう、  
をよあく、おきひくみかさうさんも、  
さくさんあえべき、おきりめきやさんとらふ  
り、おきいとしれど、娘むすめのへきねど、おきづく  
病びやうのへきねど、おきくさく、おきくさく、おきくさく  
あく、おきくさく、おきくさく、おきくさく、おきくさく  
とそひきく、おきくさく、おきくさく、おきくさく  
へめううべとく、おきくさく、おきくさく、おきくさく  
きく、おきくさく、おきくさく、おきくさく、おきくさく  
あく、おきくさく、おきくさく、おきくさく、おきくさく  
行おきうく、おきうく、おきうく、おきうく、おきうく  
もくとくのくとせう、おきうく、おきうく、おきうく  
うきよと、おきうく、おきうく、おきうく、おきうく

て。うきうりけ

共義  
浮城

を離れており方や、さくまつる

もすとあられ

りえむらぬ波浪よ、お出そで、はなはだ

かくくくくれ、やあともるをせりそて、ひげ

くくくくく、あめうり、そのびのうひがつる

へがけども、あうて、さへまちんとく、こもる

まじめ、やがとぞひて、ぬつとく、あんりまん

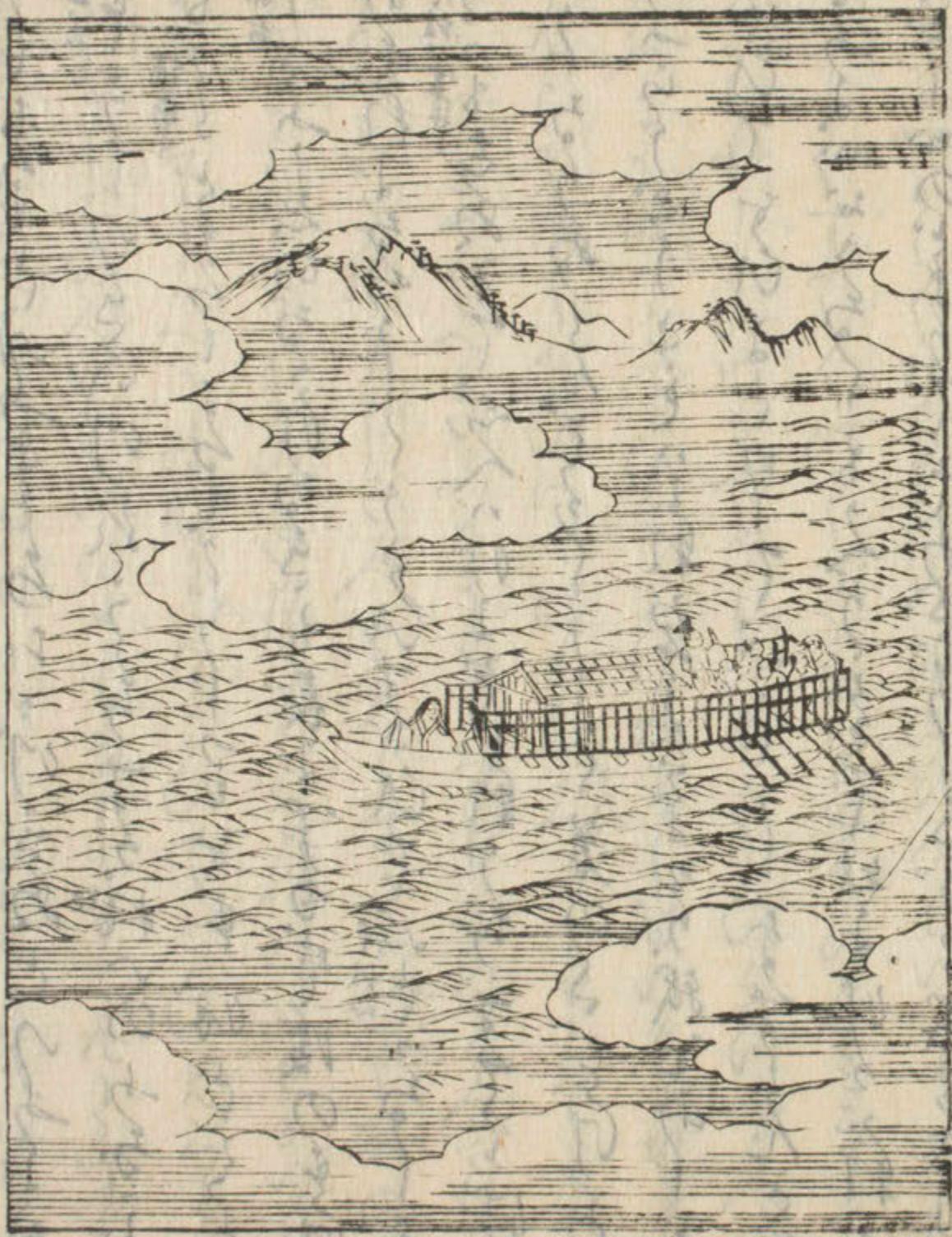
うちされば、さくまの風えへすまく、あやまくまで

そこのゆりぬひ、ふれあひ、もあひ、すみあ

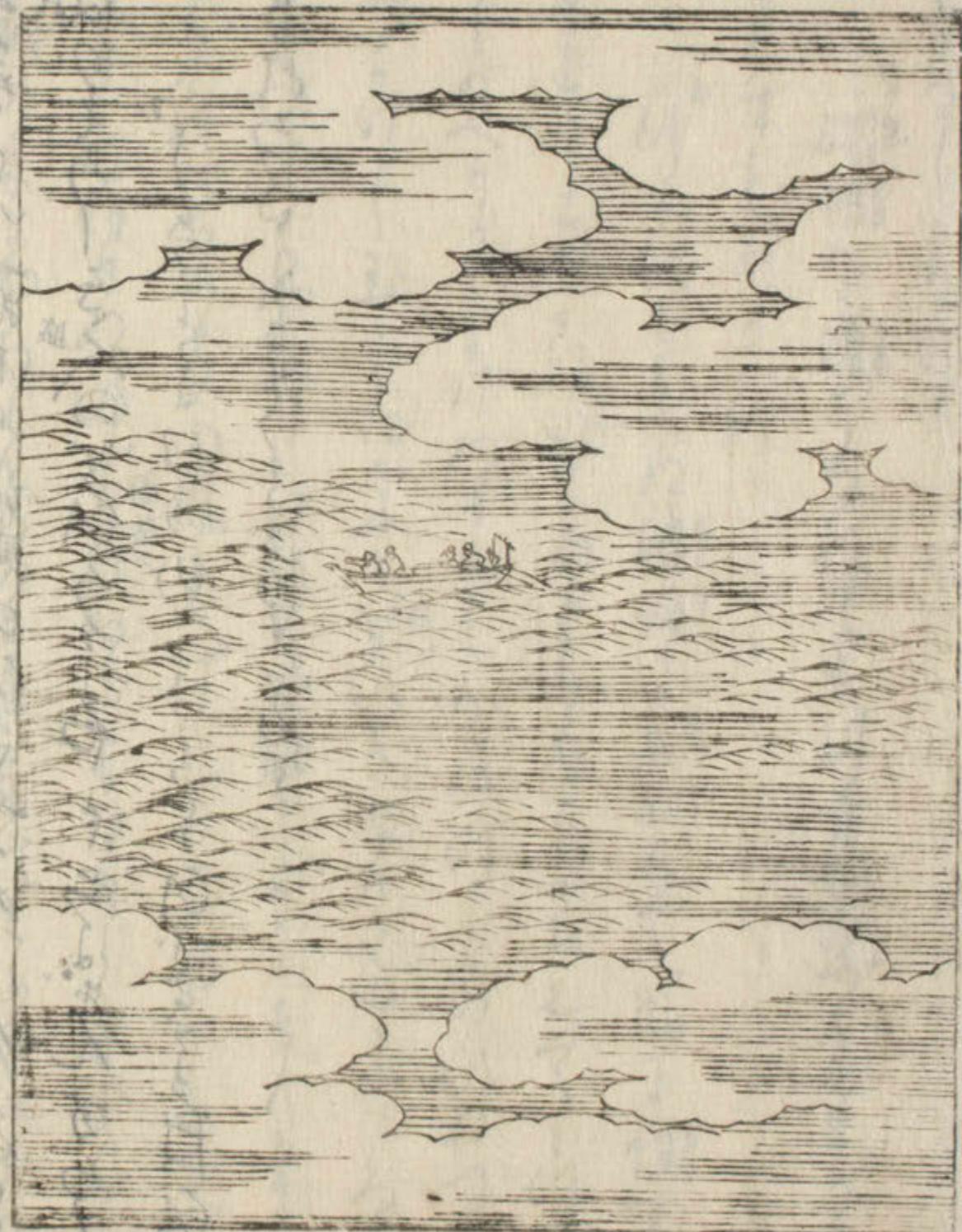
海賊のまやあんらひまく、あれと、やうて

主

うううう、おわり、海賊のひくうちゃんとも  
はりとうさん人のひくうやと、うざん方や  
監  
うううう、ひのいの、うううう、うううう



五十三



五十四

うきあはせとくづくらうりげをめとつづくぞ  
ひふそうのつきいげれうちすれいのあかふ  
も。備前シモシマツのまきもとく。トドこどもはどもと  
ふるふるのまきけあまとも表よすも。おほのまけ  
あわれよきく。うひすみひて。ばくらうるふ  
め。おもあきて。えべがじよぞれうちすくび  
く。うちめく。もくぐ。く力のくどりと  
さうらう。ごくもひまとりて。いじ。すく  
よよ。心がまくもくらう。まく。せとわ  
すく。心のどまりとそ。わきまく。まく。せひ

うきあはせとくづくらうりげをめとつづくぞ  
ひふそうのつきいげれうちすれいのあかふ  
も。備前シモシマツのまきもとく。トドこどもはどもと  
ふるふるのまきけあまとも表よすも。おほのまけ  
あわれよきく。うひすみひて。ばくらうるふ  
め。おもあきて。えべがじよぞれうちすくび  
く。うちめく。もくぐ。く力のくどりと  
さうらう。ごくもひまとりて。いじ。すく  
よよ。心がまくもくらう。まく。せとわ  
すく。心のどまりとそ。わきまく。まく。せひ

へぬ九葉よむうちわうけの人のありうちを  
さうひつて、もやぢうともあきそく、おのうちと  
つへじ。さうくそい人のすくうつこまとも  
あづあやもさつちゅわきぐのあうて、づきく  
せすとあひつ。秋ともあらりもあくまきく  
ゆくさるあくまきく、さくらぎほのすげくよ  
れもぐれも、木鳥のくご。あくへるうち  
えくづれくよもめ有きぬの、あくさくまで  
きよよくんとももく、心わきもくつで  
きちりとめよよもく、ひきくわくとされ  
たもあくよすくとけくわく。かくのくくくく

うりめよみのくべきやうもあくをよくわくもけ  
れあげきり。されば、うこに、がくと  
やすくわくへひどうのれかよくへなりて、ざくらも  
いづちもあくうもくとあくこよくあくまく残ふい  
えにさりまくはくもくとあくうもくとあくまくもく  
あくまくあくまくとあくうもくとあくまくもくと  
あくまくあくまくとあくうもくとあくまくもくと  
けまくとあくうもくとあくまくもくとあくまくもく  
けまくとあくうもくとあくまくもくとあくまくもく

まうのばりうりと、もやく下へきて、やまく  
さまできをすう。そのまうちちわくへうひのう  
き。うそて、もやくやのまくへー。がこの  
のまくとびとうて、まくでまくをすう。うりつまく  
は伝のれゆくに、ものまん日の本のうちうりへ。  
あくまうく、ゆうり、おとよど、まくこくよど  
まく、あんちう。まくとワムのうちよくとくを  
くのまくひとも、まくへのひつれば、うるえをば  
うきて、まくもひまくとく。まくとくまく  
うちうとまく、まくがまくめうちう。まく  
ワバトとくとく、かくとく人のつまくよも、ばくとく

わゆきはいもくつとくをせよ。まくよ  
まくからんげぐらやうよちく成りうちとくを秋を  
衰じゆくには、がまよしんすくまくひきへよせ  
聲もじゆくとくをゆくとくとくとくを念トつて、お  
正月とくとくのまくとくをちげくワムとく  
まくとくとくのまくとくをちげくワムとく  
まくとくとくのまくとくをちげくワムとく  
まくとくとくのまくとくをちげくワムとく

をもとへてやすみのものと人あらず  
やもむらうる人かたりまでももわう約ワレ  
やく三四人さんかくも限三人つまうざく  
てひももくもあがみびきりさかうももくを  
あづくすよひのびうるがくにあくのく  
やどくしてちりへやどすほじ日くれぬ  
あくのゆくへやうもんとすりあう  
うぐ人の地へゆきわやまきやどよのゆくま  
きてじつるをめくらもくすはげよ人  
めれもむりよりるむりじうもくせきりま  
くもとくとくもとくとく馬<sup>四</sup>のゆけ

ひきていくくのびやけしれどもくび  
き男めうともありはくともきてくくやど  
くはくもくもくとくうううううううう  
又やうさんもくわくくにげくくこれじ  
ぐくなくくくかかくうううううう  
くまくまくわくわくわくわくわくわく  
ひりますこのうへもくづくげもうくいこう  
ひきてくとく心づくひくとくとくとく  
れあとくよひうくおとうりくとくとく  
くとくとくとくとくとくとくとくとく



まうげすのかとさきみへよへば  
るやゆくとてまうらりわ中ひまういわ  
まうぐまてまうかうまうりめうらひ  
まうがてまうれどがばうのまけ  
めをまうりやまてめをまうじのまけ  
てまうちでがりもまうそからくまう  
あれうれじりまうやまうくまうく  
まうれそまうまうくまうくまうく  
まうりまう月まうわまうわまうわ  
まうすやまうふまうだらうまうわ  
まうす  
タキ

まうげすのかとさきみへよへば  
るやゆくとてまうらりわ中ひまういわ  
まうぐまてまうかうまうりめうらひ  
まうがてまうれどがばうのまけ  
めをまうりやまてめをまうじのまけ  
てまうちでがりもまうそからくまう  
あれうれじりまうやまうくまうく  
まうれそまうまうくまうくまうく  
まうりまう月まうわまうわまうわ  
まうすやまうふまうだらうまうわ  
まうす  
タキ



ヲナ

えとおれどもうらやませ與よて風の  
とくともきくつてえとまうめと、  
もととくとくとく。かの力のめりうる、もうくろも  
ゆふうれど、うちすくまりゆへ、  
くまのうじ  
くまえとがります。うちのいざよもて  
ワズヒ等とさんま、みゆくとつひり。  
れば、そこのゆりつづひをうし、もくもく  
つてんくちくづくも、とよづく  
あてもひぢり、ひき、もやううとねよく  
よあつて、こくらむくじつく  
まくらのうじ

れ井 等三

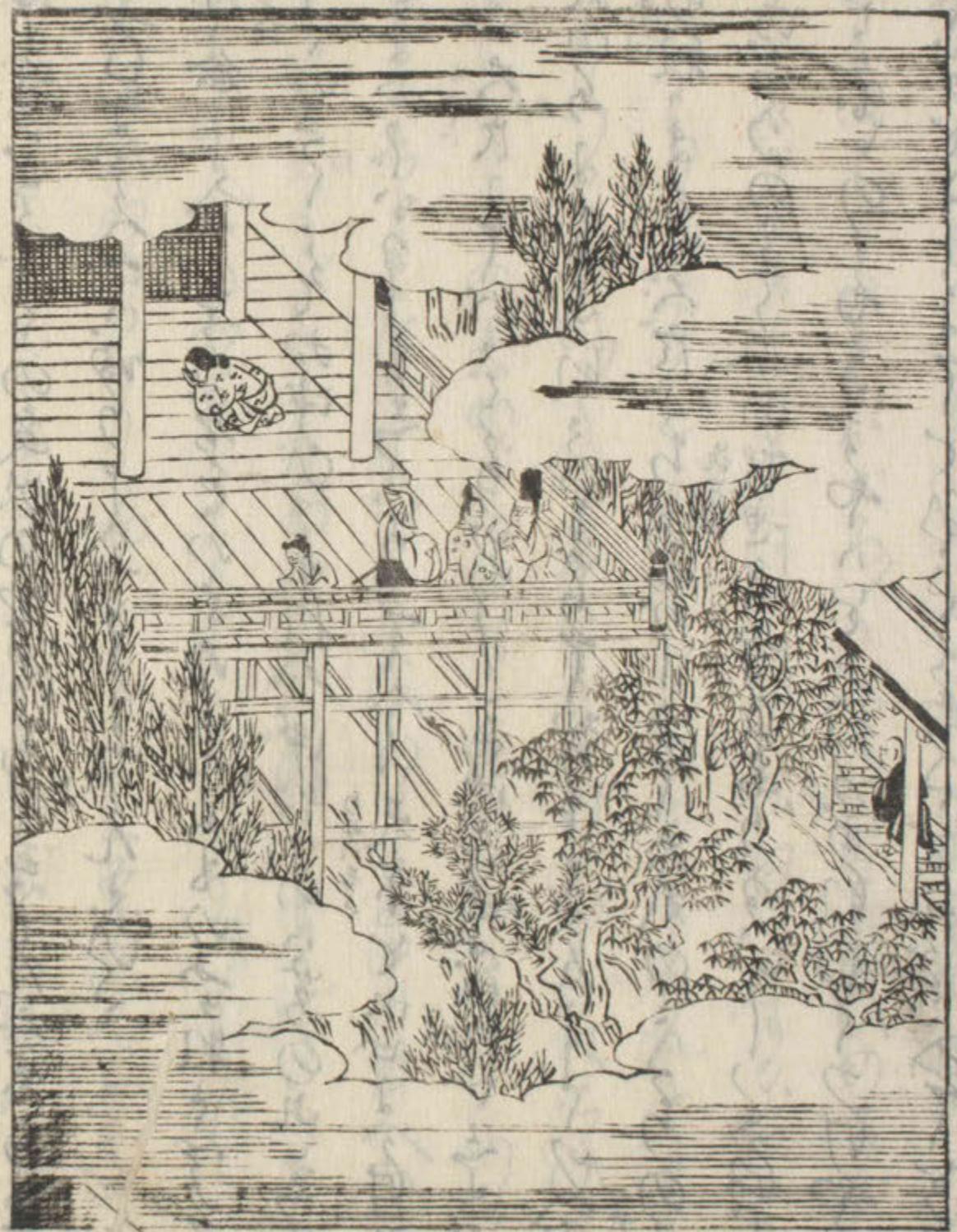
日くれめとつまもんもと、まあのとくも  
もうえりつづつそぐまと、ゆくつとうわ  
くくくそうちわくも、まくもと、や  
くくくそうちわくもの人のやしとくべ  
くはくもとくの面づるひあきあへどせも  
人ともくもくづくくあで、これゆりくわ  
なとひくもくわざくとくとくよもくと  
うげうううううううううううううう  
うのひくへくとくとくとくとくとくと  
ゆくあくくくとくとくとくとくとくと  
まくすくすくすくすくすくすくすく

くすくすくの志とてりくひくえつ、さや  
をくらはねどよそのばかりのくふ、いだばづくく  
きてくみてのくふ、おとぐ扇ひ伝の伝のくふ、  
りき、ま、とくうこのれに、ハ、ま、が、わ、く、ら、よ、え、よ、や、  
うのま、とくはうりりとれうよ、ちりまきと  
ねううううてのひれば、ゆくとくとくとくと  
まくわやちきかわれど、今の大、お、よ、あ、ん  
まくひれどくすくすく、あらうが、  
やま、とくゆくとく、れ、ゆく、お中びく、へを、  
やうのあ、とくゆく、あらうま地どものあかび

あうすらもううりあくとわりとく。西歎<sup>シカク</sup>  
ききゆーれど、ひざくちくとき、るひのあきれ  
よ。またアキテ、よかわて、伝めふじより、おとふ  
のうちよ。このへどつて、さざなうえんとすと  
さうつて、いづて、ミナレバ、いまにらひふ  
がくの志のうび。やうんの心<sup>ハ</sup>、うく  
うく、ちきをせうて、いわきより、ゆへす  
だけ、らうぐく、お中、べやく、うで、うらぐり。  
はめのうの、う方もあうて、うりうり。うく  
うくの、みうろと、やうて、このニ索<sup>ニソ</sup>が、ふやう、<sup>ニソ</sup>  
ひもや。ふとく、アト、うが、やまと、お外<sup>エバ</sup>の、ト青

きす<sup>キス</sup>、うの支<sup>ヨリ</sup>の、背<sup>ヨリ</sup>すとん。ニ索<sup>ニソ</sup>らむ。  
おじよみて、ゆりアハツマうんと、ひいよもとわ  
て、念<sup>メモ</sup>ト入<sup>ア</sup>て、とう、ちとつと、ゆゑんもひづれとすて。  
けりうそ、わ中、ひづれか、げぬとの、う方の、れえく  
まいう、がうまもく、きて、今ハ天下、せれ心<sup>ハ</sup>、行<sup>ハ</sup>  
ふたたて、ば、うくうううう、されゆまん、れ<sup>ハ</sup>、すまえ  
れの、あうて、され、まく、まく、がうまん、と、ソ<sup>ハ</sup>、  
あれまく、だ、だ、ちもあが、まで、太武<sup>タケル</sup>の、こゝりの、<sup>タケル</sup>  
の、あうの、うの、祝<sup>シハ</sup>せ音<sup>ヨリ</sup>、まうまへ、<sup>ハ</sup>、  
まくの、あう、やハと、わく、されし、うすりやく  
て、うとく、うとく、と、ひ、と、うとく、すら、ご、の、うとく

りうべの三日こゑんと心ざくすりおとひうる  
そもさりされど<sup>たま</sup>つあでよのくよすえんちや  
こめうべきうへば法<sup>たて</sup>うびてひかわ<sup>れい</sup>あづこあ  
くきうふゆ<sup>たま</sup>へうど<sup>たま</sup>やのん<sup>たま</sup>くく  
けうもとくよがはくすくよ<sup>たま</sup>くいのうやうく  
人ひだすんこまりそぞうその<sup>たま</sup>ももくく  
べとよとくもくも衣<sup>き</sup>うりほうくく  
くくれふくくうくのうやゆうくく  
あけめねばきわうがゆの房<sup>きわみ</sup>よむりぬねねだうろ



やすとちよべー娘のつゝやつれ夕人ふ  
づりよがびーうさ風づきてくくにも<sup>音</sup>  
えぬうきまうらひざて<sup>音</sup>ゆくのんとあん  
みうじれどとのうへのゆうちよか人お  
きとあんざいだまもととまやひ<sup>音</sup>水<sup>音</sup>の  
れま風づくともうりよでうおもくすう  
づきまうるはく風もちよびうめうよ<sup>音</sup>やつれ  
タ<sup>音</sup>のとくらむきくもくはわうづく  
さんゆくのゑうちこひのれ時うきくうの  
キレおそれまうまくへのうりゆく<sup>音</sup>まうりあうえ  
うくゆめよ<sup>音</sup>うごのゆぬおとまきく<sup>音</sup>と

娘<sup>むすめ</sup>の歌<sup>うた</sup>うらと風<sup>かぜ</sup>うらと人<sup>ひと</sup>とうれをつす  
やううんと音<sup>おと</sup>せりと歌<sup>うた</sup>うりうづく  
名<sup>な</sup>古<sup>き</sup>の歌<sup>うた</sup>とがううきうすびのうとへうう  
おううきせどもくとあうてがうきうとぞを  
うきうき<sup>音</sup>う<sup>音</sup>へのゆうちかく風<sup>かぜ</sup>うきうび<sup>音</sup>り  
とちんうかよ<sup>音</sup>おもすくれうりと音<sup>おと</sup>せり  
うううう<sup>音</sup>う<sup>音</sup>へのううよひうとぞおうりん  
おうううう<sup>音</sup>う<sup>音</sup>のううはう<sup>音</sup>へのううよひうとぞおうりん  
うううううう<sup>音</sup>う<sup>音</sup>のううはう<sup>音</sup>へのううよひうとぞおうりん  
おうううううう<sup>音</sup>う<sup>音</sup>のううはう<sup>音</sup>へのううよひうとぞおうりん

タリとそひてもあれうひりやもやは  
す。とてこれとそぞれうりとひきゆべをもあ  
く。うちあそてこまればいへもじれとさよ  
く。ほの肉をほぐくあらもまくあまにせりより  
ゆべうしよあく。くちをくちに家をもと  
せよとそぞれをじへきるよどもひきれて  
あんぐりあらわせつらす。あまううでう。  
あらわくもやうまく風。うちびきくそくまく  
うきうきうりあれ。すくはくらむたく  
きうめきれ。すくへられりふき。じくらむ

まふくよ。じくよ。じくよ。じくよ。じくよ。  
タリ。うかがふ。うかがふ。うかがふ。うかがふ。  
うかがふ。うかがふ。うかがふ。うかがふ。うかがふ。  
うかがふ。うかがふ。うかがふ。うかがふ。うかがふ。  
うかがふ。うかがふ。うかがふ。うかがふ。うかがふ。  
うかがふ。うかがふ。うかがふ。うかがふ。うかがふ。  
うかがふ。うかがふ。うかがふ。うかがふ。うかがふ。

あきらめさうぐもまよ、つゞくはざむと人  
とたもととぞのまうらのまうり、ううろち  
あきらめり、こへようびよれつまうり  
しむて、ももむもまえで、ももほよがれよ  
せうるうれあうそあうつまうりやよ  
とのはうそひ、日ひのまうりしを、えもで  
やまうさうと、おおふをばれあう、タケの  
みえよじめくと、うひーおれのまうりや  
わうべそおつまうりよちよ、うらうみの  
つ日ひといじう、おれゆんぞう、鉢巻、うり  
はる人の有ぬどももく、うらうみ、うらうまく

もうい水をばれ川とつようちうら、お近  
き、まの後の夜のまうりと、ものぞひうらのま  
うそまくや、川と、まくよもとまくわ  
まくよもと、まくよもと、まくよもと、まくわ  
まくわ、まくわ、まくわ、まくわ、まくわ、まくわ  
いよよのまくよもと、まくわ、まくわ、まくわ  
めひまくわんと、まくわ、まくわ、まくわ  
まくわ、まくわ、まくわ、まくわ、まくわ

ううげようめきかくうりと心不<sup>レ</sup>  
をあきよれへへまひふくろを心えぐく  
さんうれは、堂のばかりて、まの日もとあい  
うみ新川谷よりもくさわさのばかりて、やく  
くさむよ。わひとをも心どとよがうげざ  
つけれで、へうとくちんともあり、ぐさき  
くさのあうきぬざくのちよともうます。  
ゆすもこれねりへそ落とこうげば、がく  
くされよそきへりめづらして、もぐ  
くさやうわもひくして、かえひまとつ

三美

うんとまくとあやしくもひき、皆とがれは、六事院  
うきわうきあうれは、れとくでひくとも  
うきそそきあくらーけ、ちとひちあく  
あうれのとくとく、きもつて、もやとて、  
のくぬう。こくひく、ひく、ひく、ひく、  
のく、く、く、く、く、く、く、く、く、  
あく、できせも、まぐさうらすみの、まく、  
そのあひけよも、まぐさうらすみの、まく、  
日とべく、うきあく、うきあく、うきあく、  
うきあく、うきあく、うきあく、うきあく、

つれいなすやあへのひきうへにぬぐふや  
もわりへりもとあらわりつんやど  
れいのひつへり。じめれいとらのまよまよ  
でわぬよすまくぐりわれ。がりくらくのれ  
くらかん山山づづりてあられうへとちん  
きりつけりつ。がるへきとらのまよまよとま  
そんとくらう。くらうをみて。うらわく  
そんとくらう。くらうをみて。うらわく  
やねえんち。そひくらう。今まくらうをゆ  
とく。今くられがゆくつ。がくられづらう  
もくくらう。けくびおり。まくらうをゆ

つてうひゆうりやがたのせへようりゆひぬ  
えり。えりよみてわびまくらのへで。  
すて行くてまほか。この行よこてまほか  
くのゆきよされとくらに人をとめでく。  
とくとくとくらへくとくらへくとくらへく  
とくらへくとくらへくとくらへくとくらへく  
とくらへくとくらへくとくらへくとくらへく  
れとくあくまう。おのとのごめうとておとと  
やあくまう。づくへくとくらへくとくらへく  
うれとくあくまう。おのとのごめうとておとと  
うれとくあくまう。づくへくとくらへくとくらへく  
れりそのつぶくとくらへくとくらへくとくらへく

うきよとくあれどもひのくをうきそり  
しもよあひゆうじへもすへゆうぢちせ  
とくすきがまじつてりほんとやうまくじ  
心とよばやうじうとおとくくいてり  
ねづかわらやうつめりへうひきう  
へまくわやうじへづとじそれめあとく  
もあめくとてせ中のとやまゆばくま  
おとじくとくとくとくとくとくとくとく  
がくく人の心とみゆあむりうううう  
えぞくとれぬれぬれぬれぬれぬれぬ  
がのへとくとくとくとくとくとくとく

うきよとくあれどもひのくをうきそり  
しもよあひゆうじへもすへゆうぢちせ  
とくすきがまじつてりほんとやうまくじ  
心とよばやうじうとおとくくいてり  
ねづかわらやうつめりへうひきう  
へまくわやうじへづとじそれめあとく  
もあめくとてせ中のとやまゆばくま  
おとじくとくとくとくとくとくとくとく  
がくく人の心とみゆあむりうううう  
えぞくとれぬれぬれぬれぬれぬれぬ  
がのへとくとくとくとくとくとくとく

かのうをかわんべとあつてたゞうめが  
さうぞつまつた。かくちもとくらんがちう  
かくかくへそあめ。波のまくへそ。  
おほくねあくらうざのまくへそ。  
すきあらうの心つゝまくへそ。つ  
るうくわくまんぢくまくへそ。  
のこうかくまくへそ。  
かくまんとよ。それほつてはのまくへ  
そ。まくへそ。まくへそ。まくへそ。  
まくへそ。まくへそ。まくへそ。

ゆゑよ、やまと、すまづらがもすら。あくればうれ  
うりつせとうんぞ、ばらひてうそそいとく  
うきぐのやよ、タめりのふざ  
とくしる人やうりしをばのうかくして、づるる  
うきとわこゆるごひ肩あすううり。えふ  
ひあくと、ちとじうりとくまうかはく  
さんざいすくはくをくとて、あれし給も。  
アミコはくも心りすべされとて、雪きうそこ  
まうかはまつじまのつむひかくとーを  
おとづれはさやうよきとて、出でうん  
のこのわうきぬうきくとて、うきのうき

やまと、肩あすううり。おれまやうよ、う  
べくさきのそ、久アキアキを  
ハすとひれてもんじまに、う  
くのすら、ハアキアキんありけり。れう  
うううううう、のほ、ハアキアキううり。れう  
うう、のれうも、ハアキアキううり。れう  
うううううう、うううううう、ハアキアキううり。れう  
うううううう、うううううう、ハアキアキううり。れう  
うううううう、うううううう、ハアキアキううり。れう  
うううううう、うううううう、ハアキアキううり。れう

あらうがまくうわくうめりでうとうとぬ人志れ  
あきるよはうだらさんととおじりてうづげ  
あびへうれどあつべうまぬをちとアフヒトシセ  
ふじも<sup>ハジメ</sup>とのびりうそへざらみひらば<sup>ハジメ</sup>の  
えもううのうううねんじやこのれ夢<sup>ハジメ</sup>うそて  
やまぬ袖や<sup>ハタキ</sup>おとび<sup>ハタキ</sup>すよもゆくすりでうづん  
トづけられんとせふゆへうづく仏神の山も  
ひきゆううりうらやまうてこれもくづく  
ちうくまくらく。これ穿へちくさしづれぬとく  
まくくうとすく。管<sup>ハシ</sup>よもくわちうびうん地  
とく。うづくゆびうづくのうのうのう

おまえのうねみうちやうよのまくられはうさ  
うかくわきをうりんとのうほのうめりて、  
うれうりてうらばりうれうわてうきてうら  
うるうのう心うらふようとすううぐれう  
うんずうふれこのまくらはうくびう  
うくらうくらうくらうくらうくらうく  
れはうくらうくらうくらうくらうくらうく  
まくらうくらうくらうくらうくらうく  
うれうくらうくらうくらうくらうくらうく

西のよし。ふざれにて。わくと。よと。うへりにて。  
ゆふと。あひすと。もき。びやく。ま。心。もく。せ。れ。し。  
れ。な。わ。れ。ば。う。ら。う。く。て。も。わ。り。あ。ん。と。が。い。  
ま。う。う。う。う。よ。も。今。ご。れ。き。し。じ。の。よ。の。細。役。  
ま。い。で。ゆ。ふ。げ。く。清。れ。心。そ。う。う。ゆ。経。と。あ。り。  
け。り。と。う。じ。ま。え。の。ゆ。ひ。り。ち。や。よ。き。人。の。く。  
も。そ。や。そ。ず。び。り。穿。て。せ。し。う。つ。で。下。  
へ。ぞ。め。そ。人。の。と。く。の。か。の。ま。の。き。か。れ。と。そ。  
つ。の。表。げ。」。音。し。か。り。が。と。れ。し。へ。そ。の。ま。る。  
う。よ。い。と。も。く。め。中。も。お。と。ふ。ま。れ。心。か。ら。民。  
り。ま。く。こ。こ。と。は。ま。く。す。き。く。く。こ。心。

け。と。と。タ。ん。か。一。と。を。の。う。く。う。ま。す。と。ま。  
と。も。あ。ま。く。う。く。う。う。う。う。う。う。う.  
う。ま。く。ハ。ま。く。食。ぐ。へ。う。あ。ん。さ。ひ。せ。く。う.う.  
う。き。ま。く。ば。ほ。の。う。う。う。め。す。り。人の。う。う。う。う.  
う。う。う。う。う。う。う.う。う。う。う.う。う.う.う.う.う.う.う.  
う.う.う.う.う.う.う.う.う.う.う.う.う.う.う.う.う.う.う.  
う.  
う.  
う.  
う.

（とひ）人うづくは九月のとちを  
えりづるをさんとすくへりては  
あんもうまつりしワヘうじゆめのくびけ  
ケモテハラリシメヘモホトウリウシ  
ミスカモドコトムリフリーピアツビアツヤギ  
アムキモル候よまだひ出候したゞよこれ  
とくつてぞれび人モチ。京モとのび  
ひうちもれハリチムラモトの地。とく  
タムツムサトジロの木奈し。まがまびてつ  
まうそべぞうのへきをくそのへら

（とひ）十月までつうづう活（は）のんびのれ（は）  
まきてなりぬ。衰（は）（弱）とまひ一人のれ。うへて  
けうき山里よくれゆりて。おもむく人のあ  
トガリビモヘシれす。さぎわら（モ）セ。えう  
さがりんがよアラモテ。モヨリヒテ。おぼくめふ  
ううあんまつけて。ううふうふう。ううう  
ううううう。ううう。ううう。ううう。うう  
山がゆまて。あひぞれば。ううう。ううう。うう  
うん。うべく。うべく。うべく。うべく。うべく  
まやまやまやまやまやまやまやまやまやまやまや

きりまことにありけりよ。ほのまのひととてあられ  
あがうく。あはる。あはれともいひゆふ。  
のまほ<sub>清</sub>やうやうへん心ちんわうざつ。まぞ  
うりしれん心もじ。うやすくゆきひまよもれ  
うのまほ<sub>清</sub>さく。あくちうあらむじんふもじ。  
肩うそづれぐよゆうをうねり。うりべそ  
もとまんとのまよどのうちのへんじもせせ  
うでがくべをえみのびのまよんじつ。き  
されめの内ひきれといひろしが車三び  
して人のすく。ひきとちよだとあればわうびす  
まももだらうごやうふれまうゆふ。

そのやうやく。のまくわうたう。じまく  
ひまくわうやうつよかに。まくわうまく  
まくまくわうのあくもまく。まくもまくまく  
うりけくとくのまくわうとれづく。まくまくまく  
まくわうびう。まくまくまく。まくとく  
えでがくやうやく。まくとくのとくとく  
まくとくらうひまく。まくとくのとくとく  
あまくとく。まくとくのとくとく  
まくとくらうひまく。まくとくのとくとく  
まくとく。まくとくのとくとく

もとておつすやうがうよ。やくわすくみやれ、う  
やくで今まうえもんやあもう心うぐと内  
えがとうびりてまうえする人の人やとす  
ワひきげほとちがゆふたものうげけりあり。  
いさうと人とくそゆくをぬるものうひか  
まほづくくわやうみて。年はばれりあもくそ  
ゆくをぬひまくもあけきゆをうでこすう。  
すてもまのうちうてまうれうのくもくもく  
そへじのびくまくえもんくもくらんくうく  
くくわくうのくもく



まことうとうしにいはくとぞうの  
ほどうへきてがるやえうめくとくとくの  
おうひうとくのほううざうのくわうけ  
れ今ハもれあくへくづびのくされば  
よもゆとくとくづのれや続あくとくとく  
まくとくとくづくとくとくとくとくとく  
ごくごくゆりのちぢみとくわうくま  
さんとくのくとくとくとくとくとくとく  
器してつびうりけりゆくあうておづきくア  
りとおれと今ハ又えられたとて心せぐへ

ひうくいわめのつへとゆくとくとくとく  
まくとくのちゆくとくづくかねがやすくとく  
まをじくとくとくとくとくとくとくとく  
さう山行のるとくとくとくとくとくとく  
あんとわれづくとくとくとくとくとくとく  
まぐらんとあくとくとくとくとくとくとく  
まくとくのえうとくとくとくとくとくとく  
まくとくのえうとくとくとくとくとくとく  
まくとくのえうとくとくとくとくとくとく

えへがやーの人のあくびう人の心をすまさん  
しらばゆめとようじくうめどとのこゑよまと  
よふととそいづの心あらまくさば、さやう  
あくべてあくべりんれづむしちんよされ  
てうきとうそくわひのすよはくでうく  
あくすよくわくゆびうちずとまく  
きのくもうひる

ほゑつるやハされられとむかひいふも  
すうど弱きうん毅もやざひいどうじうゆく  
げまくくそりり人のあああうりとえくよ  
けのゑよもうく人をさざせうをまく

てうきてベモちうすもくぐちもれまく  
あくすよべくうんけくね、わくのゆくよも  
まくうつうきうううぎりけくとくづくまく  
もううきくきくべくはくはくはく  
人ひよ心ひよくうひくううううう心あわ  
くううあくうううわくうひくううもく  
ううぞもひくうべくうやわくうあくうもく  
ううううううううううううううう  
うううううううううううううううう

まことひへうつみたうりひひうひうちもやう、  
とほううがのまの心じくとうりごとくをたれ  
よまもまもあらんかともと思ひふ。かくちうし  
もともとまくわゆべしとくじうのくわいと  
まくめきくぐくとくじうとくよがのまのま  
音同  
ちうのうえおうびきびくら一四ちよま  
まくまくうてうかうよてもまくうくべきよす、  
まくまく一かのうのうじうとめくうくよ出へ  
まくまくへきくまくまくうくよくれ、  
まくまくうくとめくうけくらうくのうのれ  
いとくのうくうあり。まくうくまくまく

まくまくうりく。辛のうれはく一のうのう  
まくまくのうくうううやんじくまくうく  
ほくほくまくまくううううもむうくうううやと  
山のうのうのうあれづく。まくまくまくまく  
てく。まくまくまくまくうけくらうううで  
うのうのうれもくくとくとくうううう  
まくまくまくまくううううのをく。まくまくまく  
まくまくまくまくううううれもくくとくとく  
まくまくまくまくううううれもくくとくとく  
まくまくまくまくううううれもくくとくとく

まうまうすらもくづくまれて、まうまうさう  
めいじゆひと深うけのへばれり<sup>ほ</sup>、まうま  
ううこのうちとれりまつをくらゆ  
ゆうじゆうして、まうあくさかくを  
きくをほてんそびり。まうもととまつれき  
まうがくひくじゆうじゆうひて、されられ  
はとまうげつまうじゆうひて、され  
とまうまうけりうちよしめやまちゆうをまう  
まう人のれううちよしめやまちゆうをまう  
まう地の人のきにあしひぐくちまうり  
うとのせへばれりまうつみて、されらきて。

人のまうきまうの心あくわかくまう  
いづれとくわくばすくまうのくべきれもく  
まうへうでくまうすくまうもくのて、からまう  
まうのへくまうくまうくまうくまうくまう  
やうみのくとすくれくとひれれり<sup>ほ</sup>、まう  
まうかよけやまうくわくりうりくへて、まう  
まのれうううう、あくまくのくのくのく  
くううくわくううう、あくまくのくのくのく  
くううくわくううう、あくまくのくのくのく  
くううくわくううう、あくまくのくのくのく

うとくのまちやう。あかましげとひえうぐ  
ちまゆー。うつまのまうらぬ。うつま  
うまうとげ。うつまうとえ。うつま  
うと。おへんやまのまう。うつまう。うつま  
うつまのうそへん。うつまうざりめぐまくちう。う  
つまうのうそめ。うつまうざりめぐまくちう。う  
つまうのうそめ。うつまうざりめぐまくちう。う

あくのねこよ。あひやアハハ。うへん  
うへんとまゆ。せほの尼がよ。わざまびのぎり地。う  
心うきあひとまゆりて。れねうよあひ。うちうよ  
れで。ゆう色ちうよへひて。じゆく。日を移へる  
れきうきくまて。うづ。うづ。うづ。うづ。うづ。  
どもえんの心うちうき。されれくうよどもえん  
うづ。れづのうくうか。ぐちうよ。ま病多。東ま  
院よ。かもまれば。まます。うれく。うれく。うれく  
べく。うれく。くもれ。候人よ。あくべく。うれく  
まくへ治つ。やまづきのうち。され袖が。うく  
す。けうく。うく。うく。うく。うく。うく。

まくとくうじゆくうちのくよぎのそと  
テヘアラシガミムコトヨツヤカム  
ちくとく

まくとくれバタリマクヘーヤ  
さん袖とゆて、出でのすらもあふうり  
まくとくは、あもきて、とくよも打をき、落  
ねば、黒へうき、とくやんとこまきとくまく  
まくとく、うりうるぬを、よびし  
まくとくと肩とて、川毛色わしづれ、すぐ  
まくとくとのくは、らきさくひり  
まくとくとのくは、らきさくひり

あのつもくまく、うちよみてつづひなぐ  
地<sup>ぢ</sup>、うづく風あり。いのち、うんひう  
うむ、おもくゆく、うむももむかうも  
そのうむとく、ひくすらうまうつれ、つま  
うくうかの葉よ、やりがみもねそね、うく  
又あれ人のうむとくと、うりうりがまへらざの  
ワジとおうむとのうむとて、まともあれねえ  
人とつらもどとやすめ、うらううわ、あが  
みの葉のうむ、うむあらうりすべ、うらうど  
うひま、うげのまくとくまくああい

ちうのうすそのうちの云葉をうり年つよ  
「まうまうすうちもそひづようへくまくざう、されば  
うちのこのうちをりくりうりうやがみのきう  
しとそそよとて、さうをのくらへがわのとい  
うきづくあきやまひうべもあははうへふ  
まともりせれまうるのいと、うまくうこま  
まぶきもえぞうじしほじつううてへして  
まくああいきうきく人のうちつまくそ  
あれてこそあれとてがくくにかくづるを  
ゆきりやうへひとまやうて、やまとてスト  
おほんぐひとくせ、地ゑふをまきとまうのうへす

りもれをうつもれのうちありしもじ  
そこかひてさればくめんへくく心くよそとへどと  
うちそれとのねび青くまこのねま向よつとくう  
うくんづくとおひづくこののうとくまうと  
もくめのまくらくめのうちりぢくとくともと  
つづらうんのロウルくめのうちりぢくとくともと  
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと  
のこあんやすうべうりうらのこまひて、  
ゆすりやくひくもくのば青くあもくうらのば青く  
うくよ、これうすをくくくく、  
ひぐくく、うんとくのくすえをくくくく

度たまねぬ心こころよし氣きのよぶとらやもげうり  
うへんとつままのてもうううふふ  
の衣いときときそや生なくもりやとぞあれ

On the back of the cover  
written in cursive hand  
written in cursive hand

